

【受益者の皆様へ】

2013年1月30日

野村アセットマネジメント株式会社

「野村エマージング・ソブリン 円投資型」各ファンド※の年初来の基準価額の動きについて

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「野村エマージング・ソブリン 円投資型」各ファンド※の基準価額の動きについてご案内いたします。

以下に各ファンドの基準価額、「野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド」(以下マザーファンド)の基準価額の推移、年初来の投資環境と今後の運用方針をご報告いたします。

※各ファンドは「野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド」をマザーファンドとするファンドです。対象ファンドは下表のとおりです。

【2013年1月29日時点の各ファンドの基準価額】

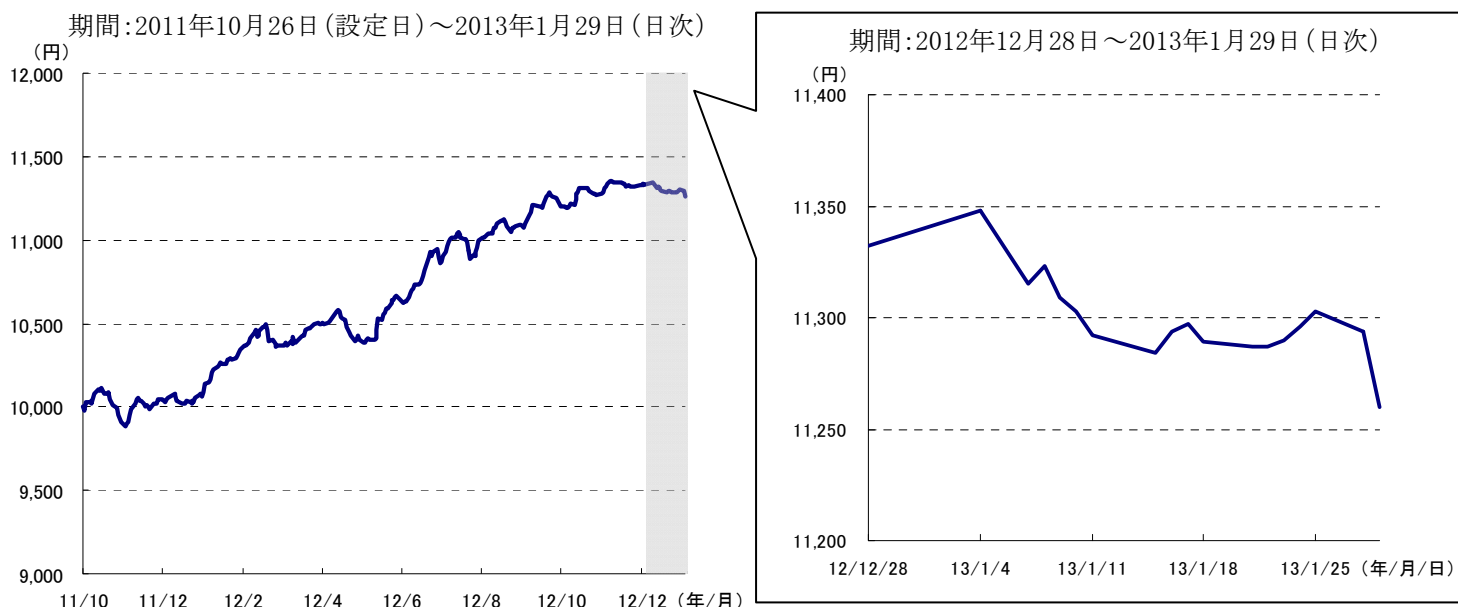
※1口当たり、課税前

各ファンド	基準価額	(ご参考) 基準価額 (分配金再投資)	(ご参考) 分配金額 設定来累計※	設定日
野村エマージング・ソブリン 円投資型1110	10,713円	11,102円	375円	2011年10月26日
野村エマージング・ソブリン 円投資型1111	10,934円	11,246円	300円	2011年11月28日
野村エマージング・ソブリン 円投資型1203	10,525円	10,754円	225円	2012年3月30日
野村エマージング・ソブリン 円投資型1205	10,587円	10,738円	150円	2012年5月30日
野村エマージング・ソブリン 円投資型1208	10,080円	10,155円	75円	2012年8月30日
野村エマージング・ソブリン 円投資型1210	9,960円	10,020円	60円	2012年10月30日
野村エマージング・ソブリン 円投資型1211	9,907円	9,907円	0円	2012年11月29日
野村エマージング・ソブリン 円投資型1212	9,927円	9,927円	0円	2012年12月26日

- ・基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもものとして計算した価額です。また、換金時の費用、税金等は考慮しておりません。
- ・分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

【マザーファンドの基準価額の推移】

マザーファンドの基準価額は設定来概ね堅調に推移してきたものの、2012年12月28日から2013年1月29日までの期間で見ると約0.6%下落しました。当該期間の基準価額下落の要因を次ページ以降でご説明いたします。



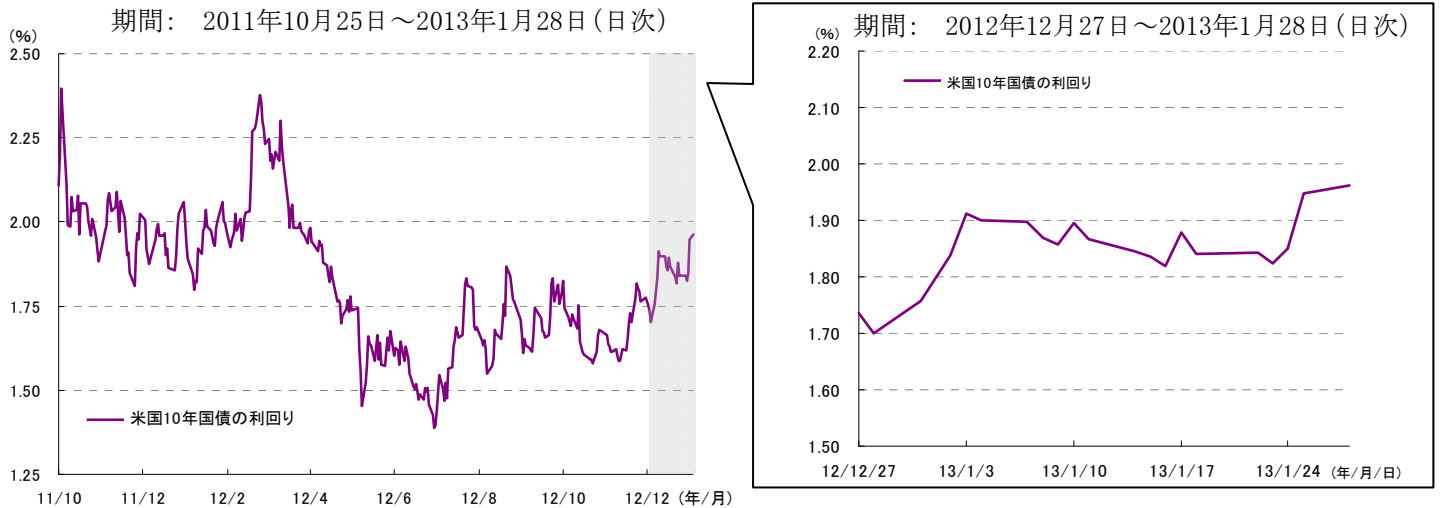
— 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 —

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料で、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券などの値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産への投資については、原則として為替ヘッジを行ない為替変動リスクの低減を図りますが、完全に排除することはできません。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。

【年初来の投資環境】

《米国10年国債の利回り(課税前)の推移》

米国の「財政の崖」問題が昨年末に一旦の決着を見たことや、米国中心に景気回復への期待が高まっていることを背景に、世界的に株価が上昇していることを受けて、米国10年国債の利回りは2012年12月27日から2013年1月28日までの期間でみると0.22%上昇しました。また、足元で欧州債務問題への懸念が後退していることも、米国債の金利上昇を後押ししている状況です。

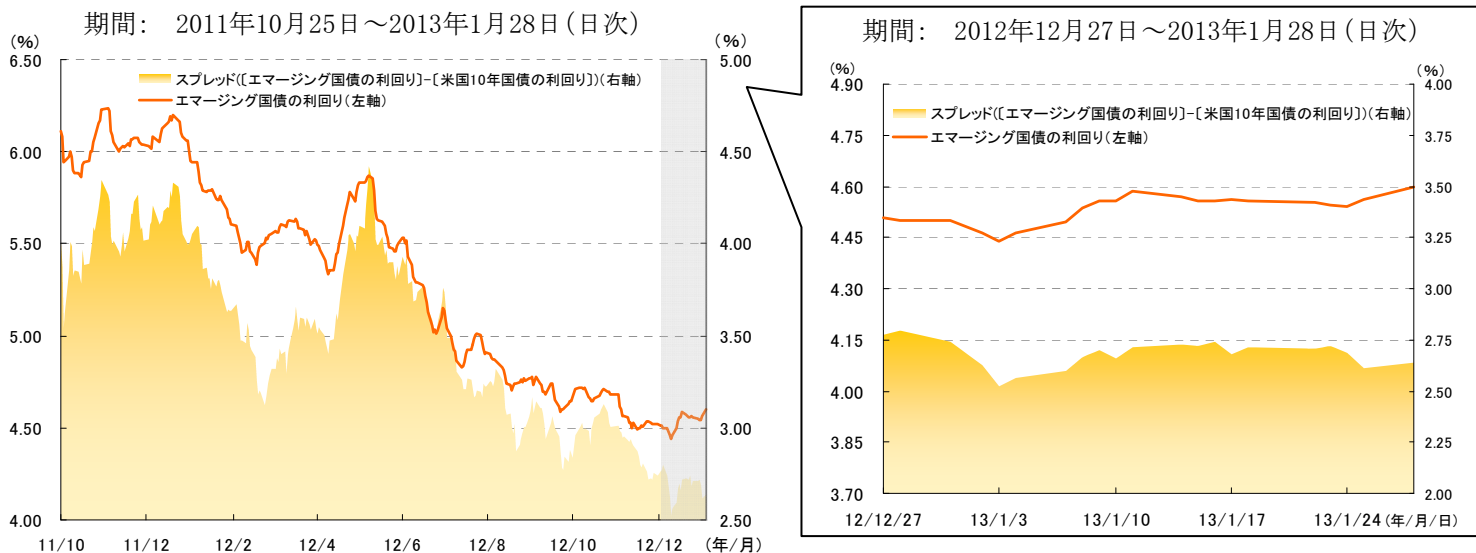


米国10年国債:ブルームバーグ・ジェネリック10年国債
(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

《エマーシング国債の利回り(課税前)とスプレッドの推移》

エマーシング国債の米国10年国債に対するスプレッドは、年初より、世界的に景気回復への期待が高まる中で、新興国各国のファンダメンタルズが景気回復とともに改善するとの見方を受けて、2012年12月27日の2.77%から2013年1月28日の2.64%へ0.13%縮小しました。一方で、エマーシング国債のベース金利である米国10年国債の利回りは、景気回復への期待を背景に2012年12月27日の1.74%から2013年1月28日の1.96%へ0.22%上昇しました。

エマーシング国債の利回りは、米国10年国債対比のスプレッドが縮小したものの、縮小幅が金利の上昇幅に比べて相対的に小さかったことから、結果として2012年12月27日の4.51%から2013年1月28日の4.60%へ0.09%上昇しました。



エマーシング国債:JPモルガン・エマーシング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル 米国10年国債:ブルームバーグ・ジェネリック10年国債
(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

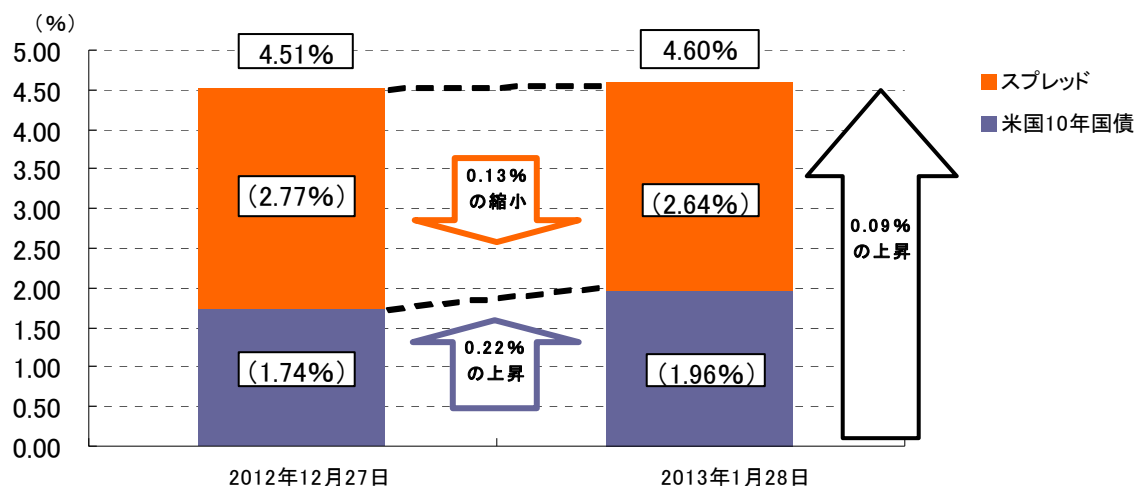
上記は過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料で、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券などの値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産への投資については、原則として為替ヘッジを行ない為替変動リスクの低減を図りますが、完全に排除することはできません。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。

【年初来の投資環境】

2012年12月27日時点と2013年1月28日時点のエマージング国債の利回り、米国10年国債の利回りおよびスプレッド（[エマージング国債の利回り]-[米国10年国債の利回り]）の変化は下記グラフのとおりです。

《2012年12月27日時点と2013年1月28日時点のエマージング国債の利回り(課税前)の変化》



エマージング国債:JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル 米国10年国債:ブルームバーグ・ジェネリック10年国債
(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【今後の運用方針】

米国の景気回復への期待感が高まっているものの、その回復のペースは緩やかなものとなると想定しており、米国の金融政策は当面の間変更される可能性は低いと思われます。このような環境の下、米国債の金利は今後、低位安定した動きとなると考えております。

マザーファンドが投資する8カ国については、2011年後半から2012年末にかけて、良好なファンダメンタルズと日米欧の中央銀行による大規模な金融緩和を背景に、米国債対比のスプレッドが大幅に縮小し、概ね良好なリターンを実現してきました。一方で、2013年初から足元までの金利上昇局面においては、スプレッドの縮小余地が限られたことから新興国全般と比べてリターンは劣後しましたが、マザーファンドが投資する8カ国は新興国の中でも中長期的にファンダメンタルズが良好な国々であると考えており、引き続き投資を行なっております。

今後につきましても、これまでの方針通り、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準や投資環境等を勘案して選定した新興国の米ドル建て債券への投資を継続して参ります。

今後とも「野村エマージング・ソブリン 円投資型」各ファンドをご愛顧賜りますよう宜しくお願いいたします。

以上

《当資料で使用した市場指数について》

- JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル (JP Morgan Emerging Market Bond Index Global) は、J.P.Morgan Securities LLCが公表しているエマージング・マーケット国債を対象としたインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料で、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券などの値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産への投資については、原則として為替ヘッジを行ない為替変動リスクの低減を図りますが、完全に排除することはできません。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。